

四、村上水軍との関係

石原家の「譜録」に太郎左衛門景信の妻は村上越中守助安の娘とあつた。毛利家の村上氏の「譜録」は系譜提出者を基準にすると、図書元敬・三郎兵衛広信・作兵衛武辰の三家と、新右衛門充朝・太左衛門充行・太兵衛正栄・小源太良尚・十右衛門忠通・吉右衛門勝正・源右衛門充長・十兵衛信政・源兵衛孝信・亦五郎尚時の十家がある。東京大学史料編纂所が一九二〇年に毛利家記録課の蔵本から作製した謄写本「村上十家譜」(一〇七五の八九六)は寛保元年(一七四二)の「譜録」であり、内題は「略系并伝書」御判物御書御奉書写共である。これは山口県文書館の藩政文書のうち県庁伝来旧藩記録にあるもの(譜録(旧藩)一三九)と同じである。右の十家の二番目にある船手組の村上太左衛門充行の略系に石原太郎左衛門の妻のことが見えれる。

越前守亮康の譲りである。一般に村上水軍というのは三島といつて能島・来島・因島の三つを指し、江戸時代には久留島家は大名となり、他の二家は毛利家臣の船手となつた。石原家の親族の村上家は村上源氏で、備後国御調郡因島（現広島県尾道市）に居城をもつ。亮康の新蔵人尚吉の子、新蔵人吉充の弟にあたる。その妻は石原太郎左衛門某の叔母とあり、叔母の父の名は不明である。亮康も小早川隆景に仕えた。亮康と妻の石原氏の間には四人の子があり、又六郎景康、吉太吉亮、石原太郎左衛門妻、五郎左衛門某である。景康は亮康の養子となつたが没したため、吉亮が養子となり、又三郎、新左衛門と改名し、乃美兵部丞宗勝の娘を妻とし、慶長元年七月二七日に没した。

「ふかまちのまど
の見出しが左衛門
に誤り訂正され
た。」

二、石原家の「譜録」の概要(正)

正記と號の歌

せら夢公園・
ワイナリー

月日 九月八日(火)

行程

八時 上組公民館発(車)

九時 せら夢公園・ワイナリー探訪

十一時三十分 探訪終了・昼食

十三時 深町帰着(車)

予備日 九月十日(木)



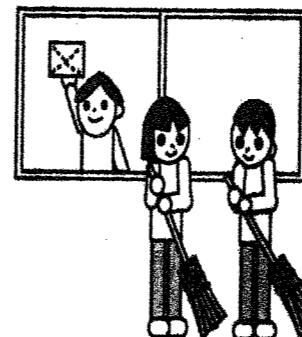
子ども会長 寺田 達哉

いつも子ども会への温かい「支援、誠にありがとうございました」といふ言葉を深く心に受け取った。この日は、三原やつさの誕生日である八月八日(土)。三原やつさは、中症のニュースが飛び交い、保護者一同、子供たちへの水分補給のタイミングなどにも万全の注意を払いながら踊り本番を迎えた。

事前の練習は四回で、決して十分な練習量とは言えませんで、したが、本番では祭りの独特の熱気に子供たちも背中を押され、「やつさやつさ」の掛け声とともに、元気にやつさを踊りきつてくれました。子供達にとつても良き経験となり、そして夏休みの貴重な想い出づくりをさせていただく事ができました。

やつさ踊りの出場に際し、連合町内会の林会長様をはじめ、各役員の皆様、町内の皆様方に温かいご支援を賜り、無事に子供やつさ踊りを終えることができました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

いいよいよ二学期が始まります。町内の皆様には、今後とも深く学校の子供たちを温かく、時に厳しく見守つていただきますようお願い申し上げます。▲▲



中学生になつて

中組 仲講 竹内ひろみつ

梅干せば訪れる人褒めてくれ
一つどうぞと妻嬉しげに

賠償求めぬと言つた国々

深閨子也

深小の子どもは

○午後四時——十分間 下校します。
※日によつて、異なることがあります。

第一回 磐たよ

会 コ 成績	第五十二回三原市TBG月例 が八月九日(日)、深町・城山例 にて行なわれました。 は次の通りです。
二一位	佐野容子(深町上組)
三位	志水孝則(深町下組)
ベスグ	谷岡義昭(中組)
ホール	ロロ高崎(上組) インワン修(下組)
二人組	石井張司(上組) 林洋祐(下組)
船本組	雄三(上組) 本船(中組)

終了のお知らせ

絶句のお知らせ

二チエー中之町店に設置して
いました。コミュニティーポツク
が七月末日をもちまして終了大
変しました。期間中はご協力大
き意は補助金としてこれから活動
には又、コースの維持管理に使
わせていただきます。深町・城山
です。気軽においで下さ